

## 第29期中間期の業績の概況



株式会社 秋川牧園

## ごあいさつ

皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに第 29 期上半期（平成 19 年 4 月 1 日から平成 19 年 9 月 30 日まで）の事業の概況につきましてご報告申し上げますので、よろしくご高覧賜りますようお願い申し上げます。

## 当中間期の当社グループの業績の概況

輸入食品をめぐる問題や国内での食の信頼を脅かす不祥事等を背景に、消費者の食の安心・安全、健康に対する関心は大きく高まっており、先駆的に取り組んできた当社グループに対して、大きな期待をいただいていることを実感しております。

この流れを受けて、当社グループでは、食の信頼や品質面のさらなる強化を進めると同時に、顧客により密着した商品の開発と提案に積極的に取り組み、販売増につなげることができました。

また、コスト構造と効率化の重点取り組みである「コスト構造改革」により、製造部門における生産性の向上、間接部門のスリム化による販売管理費の圧縮など、その成果が順調に実現いたしました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は 19 億 51 百万円（前年同期比 2.4% 増）、経常利益は 6 百万円（前年同期は 74 百万円の損失）、中間純損失は 9 百万円（前年同期は 2 億 86 百万円の損失）となり、当初予想を上回る結果を残すことができました。

次に、事業のセグメント別の状況は次のとおりであります。

### （製造卸売事業）

鶏肉の価格面での環境は引き続き厳しいものがあり、余剰部位の在庫の圧縮を積極的に推進したことも含めて、販売単価は前年を下回りました。また、鶏卵事業につきましては、健康鶏卵としての販売がやや苦戦したことで需給バランスが崩れ、需給調整コストが膨らみました。

一方、①鶏肉と冷凍食品の販売が、新規顧客の開拓効果も含めて好調に推移したこと、②コスト構造改革の取り組みにより、生産性を大幅に向上させることができたことにより、損益の改善が大きく進みました。

以上の結果、製造卸売事業の上半期の売上は 16 億 38 百万円（前年同期比 2.4% 増）、営業利益は 1 億 19 百万円（同 43.9% 増）となりました。

### （宅配事業）

当社グループの食品を中心に会員宅に毎週商品をお届けする会員制宅配事業「スマイル生活」につきましては、引き続き品揃えや商品カタログの改善な

ど、顧客満足度の向上に努め、客単価の上昇等により売上高は増加いたしました。

さらに、人員体制や経費支出の見直しを進めたことにより、販売管理費を削減することができました。

この結果、宅配事業の上半期の売上高は3億12百万円(前年同期比2.5%増)、営業損失は20百万円(前年同期は40百万円の損失)となりました。

### 当社グループの業績の見通し

販売面につきましては、鶏肉と冷凍食品を中心に引き続き好調に推移するものと予想しております。

また、上半期の収支の改善に大きく貢献した「コスト構造改革」ですが、下半期につきましても、より強いコスト競争力の確立を目指して進めてまいります。

一方、世界的な食糧需給の逼迫を背景として、飼料価格が高騰しております。ただし、下半期につきましても、飼料安定基金制度による補填金があり負担が軽減されることと、製品価格の改定の効果により、業績への影響は当初計画の範囲内に収まるものと見込んでおります。

また、当社グループの売上は鶏肉等の需要が秋から冬にかけて多くなるため、利益の大半が下半期に発生する傾向にあります。

以上により、連結の通期業績につきましては、売上高39億95百万円(前年同期比1.8%増)、経常利益55百万円(前期は72百万円の経常損失)、当期純利益20百万円(前期は繰延税金資産の取り崩し等の特殊要因もあり3億35百万円の損失)となる見込みであります。

### 当社グループの今後の戦略

当社の生産する食品の多くは、生活協同組合や健康安全な食を販売する会社など、健康安全な食をよりよい形でお届けする機能と理念をもった顧客企業との「産直」を通して、消費者に食べていただいています。今後も顧客との信頼関係を大切にし、その期待に十分お応えすべく、生産、加工、開発、品質、信頼性等をさらに強化し、進化させていくことが重要であると考えております。

また、近年では、LOHAS、スローフード、食育、地産地消、生活習慣病予防など、新しい文脈と価値観で、食や暮らしを考えるトレンドが育ちつつあります。また、後継者問題や国際競争力の低さなどの問題をかかえる日本の農業について、むしろ今後の有望なビジネスととらえるトレンドも生まれています。そこで、当社グループとしましては、食の安心安全や信頼性をさらに強化すると同時に、これらの新たな分野においてもイニシアティブをとって事業展開を進め、秋川牧園ブランドの確立と新たな成長期に向けて、積極的にチャレ

ンジしていくことが重要であると考えております。

### 当社グループの堅実な財務体質について

当中間連結会計期間における当社グループの自己資本比率は33%であり、今後も堅実な財務体質の確保に努めます。

今後につきましては、強いコスト競争力の確立と秋川牧園ブランドの育成を進め、短期的な収益力と中長期的な成長力を実現し、株主の皆様のご期待にお応えすべく、努めてまいります。

何卒今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成19年12月



代表取締役社長 秋川 正

## 当社の株式

- |            |             |
|------------|-------------|
| ① 発行可能株式総数 | 8,000,000 株 |
| ② 発行済株式の総数 | 4,179,000 株 |
| ③ 単元株式数    | 1,000 株     |
| ④ 株主数      | 703 名       |
| ⑤ 大株主      |             |

株 主 名	当社への出資状況	
	持株数(株)	出資比率(%)
秋 川 正	1,134,500	27.2
秋 川 實	427,000	10.2
秋川牧園職員持株会	348,400	8.3
株式会社山口銀行	200,000	4.8
秋 川 喜 代 子	153,000	3.7
秋 川 壽 子	129,300	3.1
山口県信用農業協同 組 合 連 合 会	120,000	2.9
伊藤忠飼料株式会社	106,000	2.5
秋 川 茂	69,600	1.7
中 村 昌 子	51,000	1.2

## ⑥ 最近6月間の月別最高・最低株価

月 別	平成19年4月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
最高(円)	645	621	600	620	570	528
最低(円)	590	571	585	560	500	430

## 中間連結貸借対照表

(平成 19年 9月 30日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
<b>【流動資産】</b>	<b>【1,702,063】</b>	<b>【流動負債】</b>	<b>【2,151,923】</b>
現金及び預金	633,208	支払手形及び買掛金	332,060
受取手形及び売掛金	468,047	短期借入金	1,480,000
有価証券	10,340	未払法人税等	12,522
たな卸資産	334,306	賞与引当金	34,264
繰延税金資産	8,132	その他	293,076
未収入金	199,912	<b>【固定負債】</b>	<b>【356,390】</b>
その他	50,330	長期借入金	167,270
貸倒引当金	△ 2,215	役員退職慰労引当金	28,663
<b>【固定資産】</b>	<b>【2,040,647】</b>	退職給付引当金	122,578
(有形固定資産)	(1,626,463)	繰延税金負債	6,259
建物及び構築物	700,029	その他	31,620
機械装置及び運搬具	192,108	<b>負債合計</b>	<b>2,508,314</b>
土地	669,210	(純資産の部)	
建設仮勘定	5,837	<b>【株主資本】</b>	<b>【1,218,761】</b>
その他	59,276	資本金	714,150
(無形固定資産)	(102,193)	資本剰余金	681,030
のれん	91,383	利益剰余金	△ 173,892
その他	10,809	自己株式	△ 2,525
(投資その他の資産)	(311,990)	<b>【評価・換算差額等】</b>	<b>【9,233】</b>
投資有価証券	43,444	その他有価証券評価差額金	9,233
長期貸付金	230,381	<b>【少数株主持分】</b>	<b>【6,401】</b>
繰延税金資産	1,119	<b>純資産合計</b>	<b>1,234,397</b>
その他	37,545		
貸倒引当金	△ 500		
<b>資産合計</b>	<b>3,742,711</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>3,742,711</b>

(注) 記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しています。

## 中 間 連 結 損 益 計 算 書

〔平成 19年 4月 1日から  
平成 19年 9月 30日まで〕

(単位：千円)

科 目	金 額
売上高	1,951,132
売上原価	1,515,414
売上総利益	435,717
販売費及び一般管理費	433,514
営業利益	2,202
営業外収益	
受取利息	3,169
補填金収入	12,631
その他	3,070
営業外費用	
支払利息	13,876
社債利息	298
その他	516
経常利益	6,382
特別利益	
固定資産売却益	123
その他	90
特別損失	
固定資産売却損	42
固定資産除却損	2,572
税金等調整前中間純利益	3,982
法人税、住民税及び事業税	10,134
法人税等調整額	3,148
少数株主利益	430
中間純損失	9,732

(注) 記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しています。

## 中間連結株主資本等変動計算書

〔平成 19年 4月 1日から  
平成 19年 9月 30日まで〕

(単位：千円)

	株 主 資 本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成19年3月31日残高	714,150	681,030	△ 164,160	△ 2,525	1,228,494
中間連結会計期間中の変動額					
中間純損失			△ 9,732		△ 9,732
株主資本以外の項目 の中間連結会計期間 中の変動額（純額）					
中間連結会計期間中の変動額合計	—	—	△ 9,732	—	△ 9,732
平成19年9月30日残高	714,150	681,030	△ 173,892	△ 2,525	1,218,761

	評価・換算差額等	少数株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金		
平成19年3月31日残高	16,913	5,971	1,251,378
中間連結会計期間中の変動額			
中間純損失			△ 9,732
株主資本以外の項目 の中間連結会計期間 中の変動額（純額）	△ 7,680	430	△ 7,249
中間連結会計期間中の変動額合計	△ 7,680	430	△ 16,981
平成19年9月30日残高	9,233	6,401	1,234,397

(注) 記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しています。

## 中 間 貸 借 対 照 表

(平成 19年 9月 30日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
<b>【流動資産】</b>	<b>【1,706,119】</b>	<b>【流動負債】</b>	<b>【2,199,443】</b>
現金及び預金	529,625	買掛金	439,411
受取手形	725	短期借入金	1,480,000
売掛金	452,532	未払法人税等	4,809
有価証券	10,340	賞与引当金	29,060
棚卸資産	306,939	その他	246,162
未収入金	314,023	<b>【固定負債】</b>	<b>【277,832】</b>
その他	94,166	長期借入金	89,676
貸倒引当金	△ 2,234	役員退職慰労引当金	28,663
<b>【固定資産】</b>	<b>【2,006,980】</b>	退職給付引当金	122,104
(有形固定資産)	(1,256,571)	繰延税金負債	6,259
建物	525,797	その他	31,130
土地	510,909	<b>負債合計</b>	<b>2,477,276</b>
その他	219,864	(純資産の部)	
(無形固定資産)	(10,188)	<b>【株主資本】</b>	<b>【1,226,590】</b>
(投資その他の資産)	(740,221)	資本金	714,150
長期貸付金	564,800	資本剰余金	681,030
その他	175,957	利益剰余金	△ 166,064
貸倒引当金	△ 537	自己株式	△ 2,525
		<b>【評価・換算差額等】</b>	<b>【9,233】</b>
		その他有価証券評価差額金	9,233
		<b>純資産合計</b>	<b>1,235,823</b>
<b>資産合計</b>	<b>3,713,100</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>3,713,100</b>

(注) 記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しています。

## 中 間 損 益 計 算 書

〔平成 19年 4月 1日から  
平成 19年 9月 30日まで〕

(単位：千円)

科 目	金 額
売上高	1,944,895
売上原価	1,564,882
売上総利益	380,013
販売費及び一般管理費	396,555
営業損失	16,542
営業外収益	
受取利息	6,314
受取配当金	155
補填金収入	1,504
その他	715
営業外費用	
支払利息	13,382
社債利息	298
その他	516
経常損失	22,048
特別利益	
その他	90
特別損失	
固定資産除却損	320
税引前中間純損失	22,278
法人税、住民税及び事業税	2,401
中間純損失	24,680

(注) 記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しています。

## 中間株主資本等変動計算書

〔平成 19年 4月 1日から  
平成 19年 9月 30日まで〕

(単位：千円)

	株 主 資 本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成19年3月31日残高	714,150	681,030	△ 141,384	△ 2,525	1,251,270
中間会計期間中の変動額					
中間純損失			△ 24,680		△ 24,680
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額(純額)					
中間会計期間中の変動額合計	—	—	△ 24,680	—	△ 24,680
平成19年9月30日残高	714,150	681,030	△ 166,064	△ 2,525	1,226,590

	評価・換算差額等	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	
平成19年3月31日残高	16,913	1,268,184
中間会計期間中の変動額		
中間純損失		△ 24,680
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額(純額)	△ 7,680	△ 7,680
中間会計期間中の変動額合計	△ 7,680	△ 32,360
平成19年9月30日残高	9,233	1,235,823

(注) 記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しています。

以上